
RE:明日家に来れる？

Reiko

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

RE：明日家に来れる？

【Nコード】

N8133G

【作者名】

Reiko

【あらすじ】

前作に引き続き、詩ですが、たまにストーリー性のある小話を入れるつもりです。別に内容的には15禁でもないと思いますが、「子供嫌い」とか「ギャル嫌」等の内容が含まれているため、一応設定しておきます。

ゴメンネ

君に勢いで送信したメール、10分後に返信が来ました
絵文字がすごいたくさんあって、ちよつとびっくり
その絵文字のなかに埋もれていたのが「ゴメン」の一言

私は泣くこともなく、またかー、と呆れた顔をしてしまいました
今日で断られるのさ、15回目なんだ、実は
私たち、出会って16ヶ月まだよね、覚えてるかな？

ちよつとイライラしてマンションの最上階のプールへ行ったら…
大声でゴチャゴチャと大声で喋りながら、平気でエレベーターの列
を抜かしてる、
女の子たち

ああ、うざい
私、子供嫌いなよ
ほんとに迷惑、ゲーセン行ったりしても学生がごちゃごちゃやって
てさ

子供全員を嫌いなわけじゃあないんだけど、あのフザけた格好して
歩く子供、嫌
子供は子供らしく公園で遊んでなさいよ

大人の世界に入り込んでくる、世界を知ったふりしてる子供、嫌い
大人の事情とか、知ったふりして
それで大人に恋して勝手に泣いてるんだ

私も何人、そういう世間を甘くみた子供を切り捨てたことだろう？

大人と高校生の子供じゃまともに成立しない、って教えてあげた君もまだ、子供。

だから、そうやって絵文字ばかりのおかしなメールをまともだと思ってるうちに、

切ってあげる、この腐れ縁

悪いけど、私はオトナも知ってるし、コドモも知ってる

だから、どっちが自分に善いかも、ちゃんと分かる
うん、つまり、さっきの「ゴメン」で私と君は終了。

また新しい同種類を探しな……

私の涙などに足をとられぬように。

夏

く夏祭りく

私は浴衣も着ずに、団扇も持たずに、ジーンズで家を出る手ぶらで、ポケットに入った携帯がやけに静かな今日待ち合わせ場所まで行くと、浴衣を着た友達

私と同性なのに、なんでこんなに私と彼女たちとの思考で差があるんだろう

そう思いながらも、しゅしゅ祭りへと毎年付いて行くのだ、私は

毎年、懲りもせず、祭りの入り口で人だかりを作っている蛙の大きな着ぐるみたち

歓声を上げて、一緒に踊りまわる他所の子供たちを尻目に、私は巨大蛙を笑う

可愛い、なんて言っただけで遊んでる友達に引っぱられてきて、蛙の真正面。

暑いでしょ、ご苦労様、なんて言ってみる

すると、蛙は困ったように呆れた笑みを浮かべる

別に同情してるわけじゃあないんだけどね……。

く孤独な……く

夜ね、ちょっと孤独を哀しむの
君という人が隣にいた短い時期を懐かしんで
一人駐車場でね、花火するの

線香花火とか、ちっちゃいのとか
じりじりじりじり…
って、見てるのが好き

こんなにも幸せなときがあるのかな

いつも、いやで、いやで
満たされるのが怖かった、そのあとの喪失感を思うと。

こういう花火は好き
寄り添って見る花火はあんまり綺麗じゃない気がするから

だって、本当に綺麗だと思う？
相手のことばっか考えて、景色なんて考える余裕ない

だから、こうやって孤独に苦しんだときに見ると、泣けてくる
ああ、やっぱりやめておけばよかった、って
君がいない夜が苦しすぎて、寂しすぎて、なんだよね

でも戻ってきてとは言わない
満たされるのが怖い。

く
夜く

真っ暗……

暑い……

誰もいない……

一人ぼっち……

消えてしまえ！

夏（後書き）

いままでと、少し書き方を変えてみました。

長いじかんと短いことば

く いまドコ??

なんか暑いなあ、とか思ったらもう春はサヨナラ
早いよねえ、なんて思ったらもう秋なんだよ
……さて、いま私は何処にいるんだっけ？

く 運動会く

なんかうるさいなあ…
なんて。

こっちは真面目に競技してるのに！

く 応援団く

争うことできず
ただ此処に存在^いて、見てるだけっていう
もどかしい状況にいるんだ

く Hot? Cold? く

暑いから夏の夜はクーラーつけて寝る
でも、起きたら
寒いから朝は暖房つけて起きる

く信じるんですか

ぬくもりなんて信じない、って人に限って
必ずぬくもりを失うと泣くんだけど？

くプラトニックく

夜は星空眺めて寄り添って、
寝るときは一緒に寝る

なんて綺麗事やってるつもりはないよ
みんな愛し合ってるんだもんねえ、
プラトニックってなあに？

くなんで？く

出会ったときは可愛いね、なんて言ったら
頬を染めてありがとう
それが半年経って秋になると、
なに当たり前のこと言ってるの？
って。

くむり！く

『明日家に来れますか？』

ごめん。

く空っぽく

なんか、常に空っぽな家の一部屋

くくくく、そうだ、埋めてしまおう！

でも開放感あっていいよね、空っぽって

く宝物く

昨日残したお冷ご飯とか

お味噌汁とか

パンとか

林檎とか

蜜柑とか

全部、宝物っていう風で、結局食べないままサヨナラ、くく

く当たり前。く

いくら大人になっても、

分からないことが一つだけある

くひとりく

二人やと、一人がええなー！ってなる

でも一人やと、さびしい、って

くcryく

泣きたくなくなるときってとことん大声で泣く

でも泣きたくないのに泣くときって声より涙の量が多い

くうるさいく

ねえ？

でしょ。

冷たさ

また一つ、あかりが消されゆく
身を襲う娯楽に溺れながら
泣く

止まらず、止まらず、あとを絶たない涙を抱えて
なにも抱くものがなく
孤独を感じるだけ

そんなことを繰り返して
まだ今宵生きてるって
信じてた

この世に裏切らぬものなんてなく
いつも泣かされて
いつも捨てられて

夜の暗さがそれを表し
闇が求める静けさに浸り
一人、痛快を喜んで

誰もいない
差し伸べられた手は冷たかった

かけがえのないものだけ失う
必要ないものだけ得てしまう
どうしてこんなに苦しいんだろう

たどり着いた場所でも一人なんて
夢ですか？

夢ならば

早く捨て去ることを許して

もしも死んでしまえば僕は泣けますか
なにか信じて彷徨ってたのに
それを失った僕は泣けますか

用事があつたからメール放置してたら
メールの返信催促きた

知らないよ、、

こっちにだって都合はあるんだから
ちよつとは考えたら？

そうやって怒鳴るように絶縁のメール送った
そしたら返事は返ってこなくて
怖くて謝れなくて
結局そのまま放置で

そうやって消えていくんだね、絆
一人で流した涙って果敢無いね
忘れられないね

アルバムのなかで眠る笑顔
取り出す勇氣はないけれど
思い出す勇氣もないけれど

とりあえずそれは見ていないけど
この手のなかに収まっています

また君を想うことができるなら…

今度こそ、この冷たさで覆います

二度と消してしまわぬように、此処から

最後のドラマ

僕は君を愛したこと
心のどこかで疑問だったんだ
これは正しいのかと

愛したことに違いない
ただ世間の「ルール」から外れている気がして
なぜか涙が出てきそうに……

なる。

どうしてだなんて分からない
でも、

いつも何かしら心に影がある気がして
惑ってしまう

ねえ

いつ分かるかな？
もどかしいくらい
何か感じてるよ

僕は君を愛したい
君に愛されたい

ただ君の幸せを願うだけなんだ、
でも、愛したい

分かってる

僕が君を愛せば君は幸せを失う

僕の仕事は

君を「正しい」道へ戻すことだって
分かってる

でも

やっぱり愛したい
抱きしめたいよ

ねえ

最後の最後

残されたドラマ

完結の許されないドラマ

一緒に見ようよ

最終話は見ない、

約束するから

最後までだけは、君に残すから

君が誰を見ていても、ね

知ってる、、、

君は僕の存在すら知らないに近い

会話したことさえも、ない？

知ってる、、、

僕は君の特別じゃないことを
いつか、消えてくれる？

ねえ

愛おしいよ

もう、来ないで

話さないで

こちらを向かないで

愛おしく、思わせないで。

ねえ

もう想わないと誓うよ

だから、もう一度だけ

甘い夢をください

最後のドラマを見せてください

ねえ

罪を犯してしまいました

僕は君に許されたい

もう一度だけだから

ねえ

僕に見せてよ

一度だけの幸せ

もう何も望まないから

最後のドラマ

そこにある

いつも此処で

ほら、聞こえる？

君が何を見ていたとしても

僕は君を愛すると誓うよ

S w e e t S w e e t

〕 S w e e t S w e e t 〕

甘くおいお菓子食べたって

満たされるのは、、、結局空腹だけ……！

まずい料理を食べても、美味しいお菓子を食べても結局一緒なんだ

君が大く好きだったって

結局はね、、、離れちゃう……！

君を知っていた喜びよりも離れた悲しみの方が大きいんだ

く逃ゲタイ、逃ゲタクナイく

時が経てば終わるんだから

そんな気にすることないよ

どうして僕ら

いつかは終わっちゃうことを

気にして泣いたりするんだろう

く繰り返すく

どうしていつも「またか」って言葉を使っちゃうんだろう

いつもいつもただ笑うことしかできなくて

人間という生き物は全員偽善者なんだって気にさせる

大変だけど、繰り返した分だけ学べるよ

くりそうく

かつこいい理想は求めてない

でも、「人並み」「普通」の理想は求めている

それで

いつか気づくんだ、「普通」や「人並み」はカッコいい理想なんだと

くもしもく

もしも今、僕が消えたとして

君がなにを思うんだろうつて考えたら

いつそ消えてみたいと思う衝動

く現実く

将来の夢

理想のプラン

楽しい予定

面白そうな映画の予告

……足がすくむ

いまいる現実の残酷さを知って

くとりあえずく

とりあえずこれでいいや、って自分が期待していたものよりチープなものを選んで

でも、気づけば「とりあえず」のものに自分でも呆れるくらい執着してる

そんなこと、ない？

く優しい雨に打たれく

コノママ、ズット、キミト、ココニ、イタイ——

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8133g/>

RE:明日家に来れる？

2010年10月20日14時08分発行